

第74号

酪農

とちぎ



10月12日 酪農フェアより

- 1 ページ 表紙
- 2～3 ページ 上半期事業報告
- 4～5 ページ 酪農フェア・ホルスタイン共進会
- 6～7 ページ 東西南北
- 8～9 ページ 部課だより
- 10 ページ 役員研修会、理事会だより、市場成績



平成25年度上半期事業実績

上半期の各部門を合わせた事業利益は4億549万円（計画比105・9%）となり、事業利益・経常利益とも計画差で3千万円を越える実績となりました。

下半期も2カ月を過ぎようとしておりますが、今後とも計画達成に向けて事業を推進してまいりますので、今後とも皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。以下に各部門の上半期実績について概況を報告いたします。

一・生乳販売

上半期の生産状況は、酷暑の影響や離農者の増加が重なり10万7760トン（前年比101・8%、計画比98・8%）の実績となりました。生乳販売高は、加工率が9・29%と前年より0・67ポイント減少したものの生産量の減少により112億8487万円（前年比102・4%、計画比99・4%）の実績となりました。生乳計画生産達成状況ですが、組合員への割当配分（申告）比95・9%、関東生乳販連からの配分比99・6%でした。収支については、乳量

減による販売費用・手数料収入の減少がありました。諸費用が計画を下回ったことにより、事業利益2億7715万円（前年比95・5%、計画比102%）となりました。

二・市乳販売

牛乳の販売価格は成分無調整牛乳で、1本当たり149円から230円台と幅があり、量販店の下段で売られているPB（プライベートブランド）牛乳は168円から178円の牛乳が主となっている。

事業推進に当たり、帳合先と連携を図り、組合牛乳の取引価格保持と拡販に努めました。だが、那須だいき牛乳や酪農牛乳の売上げは、廉売牛乳と競合し大幅に減少しました。ただ、7、9月は回復基調にあり、特に那須だいき牛乳500ミリリットルは好調な伸びを示し、8、9月と計画を上回りました。また、こだわり牛乳も計画には及びませんでした。9月には計画を上回り回復基調でした。ふれあい牛乳は夏前のキャ

ンペーンを実施しましたが、計画達成に至らず、ながしま牛乳は地道な販売努力で概ね計画通りでした。一方、かましん牛乳は夏季のキャンペーン効果で更に売上を伸ばし、計画を大きく上回りました。販売総数88万3千本、計画比90%の実績となりました。

三・購買

飼料供給量は、酪農中止等による利用減及び価格高騰の影響による自給飼料の利用増により、濃厚飼料は4万1108トン（計画比97・2%）、粗飼料は2万1114トン（計画比94・3%）といずれも計画減となりました。そのようことから、利用奨励金は配合飼料1億189万円、粗飼料で、1791万円、TMR等で497万円、総額では1億2478万円と計画を下回る実績となりました。収支は、飼料供給量の減となったものの、計画外で利用高配当等もあり事業利益は1億986万円（計画比105・6%）となりました。

四・酪農指導及び流通

飼料高騰下における飼料費低減を図るため飼料給与メニュー変更などの指導支援や、良質乳生産に向け診療課と共にバルクスクリーニング検査を実施し、その結果を

基にした改善指導に努め、場合によっては搾乳立会も行い的確な改善指導を行いました。また、当期も県北を中心に放射性物質の影響による牧草の給与前検査が必要となり、関係機関と連携しサンプル採取の巡回や給与自粛圃場の放射性物質軽減に向けた技術支援も実施しました。

補助事業関連の取り組みでは、特に畜産経営力強化緊急支援事業（補助付リース）において過剰投資とならぬ様、農家に熟考していただき179件の申請を行いました。

酪農ヘルパー事業は、傷病利用日数も計画に織り込むものの昨年の半分程度（242日）となり、酪農家にとって傷病減少は喜ばしい事ではありますが計画を下回ることとなりました。（計画比91・7%）

乳牛導入事業は、生乳生産量を維持するための導入増があり計画以上の実績となりました。（計画比162%）預託事業も、飼料価格高騰の影響と県内放牧場の放射性物質による放牧自粛解除面積が増加したことで計画を上回る実績となりました。（計画比104・6%）

五・改良事業

凍結精液及び受精卵の販売につ



いては、乳用牛精液は性別別精液が前年比130%と伸びたものの計画通りで、肉用牛精液は計画を下回り乳用牛と肉用牛合わせて2万2314本(計画比98・7%)受精卵販売は安定した大口利用と、その他乳用牛IVFや和牛雄IVFの販売が増加し、237個(計画比158%)の配布実績となりました。

登録業務は、血統登録証明書、その他証明書の発行とも計画を上回る実績(計画比109・8%)で、牛群検定事業については、お試し事業に1名が参加し成績活用の指導支援に努めております。収支については、事業利益で1189万円(計画比109・7%)でした。

六、診療事業

繁殖検診事業は、新規4戸が増えたことにより計画を上回りました。(計画比102・2%)乳房炎防除事業は、バルクスクリーニング検査を宇都宮・県南支所は全戸で実施、高原支所でも各地域・支部で取り組みましたが農家戸数の減少等により計画を下回る結果となりました。(計画比93・4%)受精卵事業は、ホルスタインの採卵移植は増加したが、和牛卵の移植需要が減少したことで計画を下回りました。(計画比88・6%)

収支については、事業利益で1145万円(計画比108・2%)となりました。

七、牧場事業

牧場事業は酪農とちぎの子会社である(株)酪農とちぎアグリサポートに牧場の作業全般を委託し、牧場事業の効率的な事業運営に努めておりますが、放射性物質の影響で土上平放牧場の放牧月齢制限等により、預託頭数は2109頭(前年比109・8%、計画比91・9%)となりました。収支については、良質自給粗飼料の生産に努

め収穫量が増加し事業利益で398万円となりました。なお、乳用雌子牛の買取育成販売事業については、現在8頭を飼養しており、販売時期が来ましたら組合員にお知らせいたします。

八、経営管理

事業管理費は、人件費並びに事務費、施設費等の削減が図られ計画を下回ったことから3億6919万円(計画比98・0%)の実績でした。

(株)酪農とちぎアグリサポート受託事業においては227・5haを受託し、除染作業や収穫作業の増加により前年比215・2%、計画比132・3%となりました。人的支援については、受託作業へ変更する方があったため、608・5時間(計画比93・6%)となりました。収支については、事業利益8689千円(計画比162・2%)と計画を上回る実績となりました。

平成25年上半期 予算実績比較表

(単位：千円)

項目	計画	実績	計画差	計画比(%)	
生乳販売	収益	12,826,660	12,734,411	▲ 92,248	99.3
	費用	12,555,041	12,457,266	▲ 97,774	99.2
	利益	271,619	277,145	5,526	102.0
市乳販売	収益	160,782	148,977	▲ 11,804	92.7
	費用	155,018	142,138	▲ 12,879	91.7
	利益	5,764	6,839	1,075	118.7
購買	収益	4,229,450	4,291,338	61,888	101.5
	費用	4,125,410	4,181,474	56,064	101.4
	利益	104,040	109,864	5,824	105.6
酪農指導	収益	90,903	93,642	2,739	103.0
	費用	109,250	109,965	715	100.7
	利益	▲ 18,347	▲ 16,323	2,023	-
流通	収益	133,125	162,914	29,789	122.4
	費用	132,572	166,281	29,709	122.4
	利益	553	633	80	114.5
改良	収益	81,618	81,570	▲ 47	99.9
	費用	70,769	69,673	▲ 1,095	98.5
	利益	10,849	11,897	1,048	109.7
診療	収益	18,236	18,883	647	103.5
	費用	7,653	7,428	▲ 224	97.1
	利益	10,583	11,454	871	108.2
牧場	収益	59,759	62,174	2,415	104.0
	費用	61,968	58,193	▲ 3,774	93.9
	利益	▲ 2,209	3,980	6,189	-
事業総収益	17,600,533	17,593,913	▲ 6,619	100.0	
事業総費用	17,217,681	17,188,422	▲ 29,258	99.8	
事業総利益	382,852	405,491	22,639	105.9	
事業管理費	376,829	369,198	▲ 7,630	98.0	
事業利益	6,023	36,292	30,269	602.6	
事業外収入	26,440	26,765	325	101.2	
事業外費用	5,860	5,739	▲ 120	97.9	
経常利益	26,603	57,318	30,715	215.5	

同 (株)酪農とちぎアグリサポート予算実績比較表

(単位：千円)

項目	計画	実績	計画差	計画比(%)
収益	26,850	32,021	5,171	119.3
費用	21,493	23,332	1,839	108.6
利益	5,357	8,689	3,332	162.2



栃木県酪農フェア2011開催

去る10月12日(土)晴天に恵まれ、栃木県畜産酪農研究センターにおいて栃木県酪農フェア2011が栃木県酪農協会主催、県内5酪農協後援、県牛乳普及協会の協賛で、第24回栃木県ホルスタイン共進会と併せて盛会に開催されました。

酪農フェアは、「ミルクの国ゾーン」と「消費者とのふれあいゾーン」に分かれ、ミルクの国ゾーンでは、ホルスタイン共進会が開催



され県内各地から70頭のホルスタイン牛達が厳正なる審査を受けました。また、共進会会場外側では、農機具や資材業者12社が展示出店し会場を盛り上げ、酪農家とのコミュニケーションが図られました。また、消費者とのふれあいゾーンでは「ミルク王国フェア」と題し搾乳体験、バター作り体験や牛乳パックを使ったミルクパクション工作等盛りだくさんの催しに大人から子供迄酪農に係わる体験に楽しいひとときを過ごしていました。また、フードコーナーでは、女性会の方々が巨大鍋に「牛乳入り豚汁」を作ってチャリティ販売をしました。手造りピザ体験教室では、自分で生地にピザの材料を並べオリジナルのピザを作り石釜で焼いてもらったり、その他美味市場コーナーにおいても行列をつくり賑わいを見せていました。



第24回 栃木県ホルスタイン共進会

オールジャパンブリーダーズサー

ビス(株) 取締役指導部長、高橋

忠司氏を審査員に迎え、未經産5

部経産6部70頭の精鋭が県内より

集結しハイレベルな改良成果を競

い合いました。

厳正なる審査の結果、当組合か

らジュニアチャンピオンには那須

拓陽高校、リザーブジュニアチャ

ンピオンには高塩浩典氏、インター

メディアイトチャンピオンには植

木靖氏、シニアチャンピオンには

和泉正行氏が輝きました。参加し

た優秀なホルスタイン牛達が堂々

と審査会場を歩き審査を受ける光

景は、それぞれに誇らしささえ感

じ、感動を覚えました。入賞者の

皆様おめでとうございました。

各部の上位入賞牛の結果は次の

通りです。



リザーブ ジュニアチャンピオン
高塩 浩典氏



ジュニアチャンピオン
那須拓陽高校



高橋審査員



シニアチャンピオン
和泉 正行氏



インターメディアイトチャンピオン
植木 靖氏

第24回 栃木県ホルスタイン共進会入賞牛一覧

開催期日：平成25年10月12日(土)

開催場所：栃木県畜産酪農研究センター (那須塩原市千本松)

審査員：高橋 忠司氏 (オールジャパン ブリーダーズ サービス株式会社 取締役指導部長)

出品頭数：70頭

出品番号	生年月日	名号	父名号	出品者	
				住所	氏名
ジュニアチャンピオン					
207	H24.9.14	タクヨウ ナリタツ ハツビー ダミオン	アーバクルス ダミオン	那須塩原市下永田	栃木県立那須拓陽高等学校
リザーブ ジュニアチャンピオン					
211	H24.8.16	ハーネスファーム サンチエスター ルル	ジエンマーク ストーマテイツク サンチエス	那須塩原市壘沼	高塩 浩典
インターメディアイトチャンピオン					
805	H22.8.12	ハイロード ジャスパー エストリーゼ	ウイルコックスビュー ジャスパー ET	日光市小林	植木 靖
リザーブ インターメディアイトチャンピオン					
905	H22.3.15	スノーライト ロス アンコール	ブレイン-O ダーハム ロス 331 ET	那須塩原市青木	眞嶋 大輔
シニアチャンピオン					
1102	H20.3.22	プロスベリティー スターディー スター ニコ	レーガンクレスト ダンディー ET	那須塩原市青木	和泉 正行
リザーブ シニアチャンピオン					
1108	H17.11.17	アライ D セブテンパー エリツク	パーシユート セブテンパー ストーム ET	那須塩原市鍋掛	荒井 康裕

優等賞1席

部別	出品番号	生年月日	名号	父名号	出品者	
					住所	氏名
1	105	H12.1.2	ハーネスファーム デイストライ ロイヤル	サイエンティフィック デイストライ ET	那須塩原市壘沼	高塩 浩典
2	207	H24.09.14	タクヨウ ナリタツ ハツビー ダミオン	アーバクルス ダミオン	那須塩原市下永田	栃木県立那須拓陽高等学校
3	305	H24.6.30	バインツリー ファースト ロイ クリスマス ブレークアウト	バームクレスト ブレークアウト ET	那須塩原市壘沼	プラネット アジア シンジケート
4	402	H24.4.6	ブランドツリー ABE O ローソクテイ	コムスター ローソクテイ ET	日光市小林	植木 靖
5	503	H24.1.16	コバリ サンチエス エクストリーム	ジエンマーク ストーマテイツク サンチエス	那須塩原市青木	小針 勤
6	609	H23.6.18	ハーネスファーム ダンディー スター ルル	レーガンクレスト ダンディー ET	那須塩原市壘沼	高塩 浩典
7	711	H23.1.11	グリーンウッド ジャスパー マーク ティファニー	ピーチエ ティファニー ET	那須塩原市青木	見山 貴生
8	805	H22.8.12	ハイロード ジャスパー エストリーゼ	ウイルコックスビュー ジャスパー ET	日光市小林	植木 靖
9	905	H22.3.15	スノーライト ロス アンコール	ブレイン-O ダーハム ロス 331 ET	那須塩原市青木	眞嶋 大輔
10	1001	H21.11.5	イトリフイツク コトミ アドベント キサラギ	KHW カイト アドベント RED ET	那須郡那須町高久甲	伊藤 高行
11	1102	H20.3.22	プロスベリティー スターディー スター ニコ	レーガンクレスト ダンディー ET	那須塩原市青木	和泉 正行



東西南北

那須高原支所

第11回野外パーティー

8月6日開催予定しておりますが、各協賛団体や組合員ととりまとめや前日のテント設営等準備万端整え当日を待っただけの状況でしたが、予報で那須地域に大雨洪水警報が発令され、止むを得ず中止の判断をいたしました。

当日朝、各支部長に連絡をし、肉などの食材を支所にて配布し、その後戻って支部毎のパーティーを盛大に開催したとの報告がありました。また毎年楽しみにしております抽選会についても、厳選な抽選ののち当選者に配布するなど今までにない行事となりました。

行事予定

去る10月21日に支所活動推進協

議会四地域組合長会議が開催され、左記の事業の開催が決定しました。

●研修会（講演会）

12月10日（火）

那須高原支所会議室

講師 宇都宮記念病院

総合健診センター

看護師課 総括師長

千葉 暢子 氏

●ボウリング大会

2月上旬

黒磯ボウル・王冠ボウル

懇親会 榊原会館

宇都宮支所

「支所協議会主催全体交流会」

盛大に開催される

今年も夏空の下、宇都宮支所全体交流会を開催致しました。例年であればお盆を過ぎての開催でしたが、今年はお盆前の8月8日（木）の開催となりました。夏のキラついた太陽の下、バーベキュー、抽選会を行い、お子さん向けにピンポン玉運びレースやカ

ブト虫・クワガタ虫の配布を行いました。



宇都宮支所は雑木林に囲まれていて、夜は防犯ライトで明るくなっている為、朝になるとライトの下にいろんな昆虫が落ちていきます。そこで、カブト虫とクワガタ虫をアグリサポートの菊地さんが、虫かごに集め、この日まで飼育していた物を皆さんにお配りしました。アトラクションのピンポン玉運びレースは、小さいお子さんまで一生懸命取り組んでいた皆さま。ただ、いま一つ盛り上がり

欠けたのは司会進行役の私（前原）の腕が悪かったものと反省し、次回への改善点とします。

一方、カブト虫・クワガタ虫の配布が大盛況で、容器にぎゅうぎゅうに詰めて笑顔いっぱいのお子様方の姿を見られたのは、我々にとってもうれしい限りでした。来年も「飛んで火にいる夏の虫」よろしく、せっかくの資源を大切に、子供達のお土産を作っておかねばならないと考えています。

今後はより多くの組合員の皆様に参加していただくと共に、より楽しんで交流を図って頂けるよう支所協議会内で検討し、企画立案してまいります。



行事予定

去る10月9日に支所活動推進協議会運営委員会が開催され、左記の事業の開催が決定しました。

●花の苗配布

11月7～14日

パンジー（20本）とビオラ（30本）を配布による牛舎環境美化の推進。

●研修会（酪農セミナー）

12月12日

宇都宮支所会議室

●生乳生産チェックシート記載確認及び牛舎周辺環境美化巡回
12月3～5日



県南支所

2 地域合同研修会を開催

11月6日、芳賀地域酪農組合

（山口文男組合長）と河内南部・

下都賀地域酪農組合（杉野昇組合

長）による合同研修会を県南支所

にて開催し、48名が受講しました。

今回の研修は、全酪連購買部酪農

生産指導室課長代理の丹戸靖氏

を講師にお招きし、儲かる酪農経

営のポイントとして、飼料高騰下

の経営戦略について御指導を頂き

ました。

講演では、酪農経営の概況につ

いて説明され、様々な問題点を踏



まえ、改善策や経営戦略のヒント

を助言されました。1つ目は、問

題に気づいて家族や従業員で共有

することであり、2つ目は目的意

識を持ちモチベーションを高める

ことである。更に経営ビジョンを

持つことが重要である。経営方針

に基づき、到達点を設定している

牧場は実行力があり、ライフスタ

イルを確立している牧場は、稼ぎ

に関わらず満足度が高いとのこと

である。そして、3つ目は「ムダ

を無くす」ということである。現

状の飼料高騰に立ち向かうために

は、疾病・事故牛・繁殖遅延等に

よる乳量減や、経済損失を防ぐこ

とが大切であり、これらのムダを

省いていくことが、最大の目的で

ある利益を上げることになるとの

ことでした。

今回、受講された方は、飼料高

騰下のなか、何をやるべきかを感

じとったことと推察し、今後の経

営の一助にされればと思います。

研修会終了後に、支所事業の一

環として、花の苗（パンジー・ビ

した。今後も牛舎環境美化を意識

し、消費者に向け「食の安全・安

心」に配慮した生乳生産を、宜し

くお願い致します。

行事予定

去る10月8日に支所活動推進協

議会運営委員会が開催され、左記

の事業の開催が決定しました。

●花の苗配布

11月6日

パンジー、ビオラ及びプラン

ター配布による牛舎環境美化の

推進

●全体交流会

12月3日

バーベキューやビンゴゲーム

等が開催されます。

●税務申告学習会

年度末迄随時

組合員の根本壽一氏（ソリマ

チ農業ソフト認定アドバイザー）

と石川明氏による記帳及び青色

申告決算書作成指導の実施。

また、3月に税理士による申

告指導も実施予定。



部課だより

生乳販売課

平成25年10月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し103・1%（1万7904トン）と、2年間連続し前年を上回る生産となりました。また、年間の受入乳量は、那須高原支所7万6388トン（前年比103・4%）宇都宮支所1万8561トン（前年比100・2%）、県南支所3万715トン（前年比99・7%）、合計で12万5664トン（前年比102・0%）となりました。

出荷者数は、前年同月より25戸減の496戸（内、学校・公共団体3戸）でした。

また、10月度の乳質は、脂肪率、無脂固形分率については前年並み、細胞数は前年より向上しております。

尚、10月迄の累計不合格件数は712件となり、前年（810件）を下回りました。

関東生乳販連の10月総受託乳量は、生産量が前年を下回る会員が多く、前年比97・9%と1978トン程前年を下回り、累計でも98・

6%と前年割れの状況が続いています。

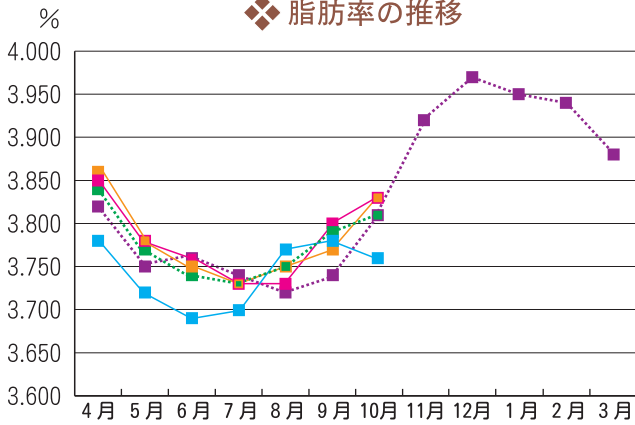
一方、用途別販売数量は、天候等の影響もあり、飲用向け販売数量が前年比99・7%と2ヶ月連続で前年を下回りました。また、加工率についても、4・3%と前年を若干上回る値でした。

尚、平成25年10月度の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

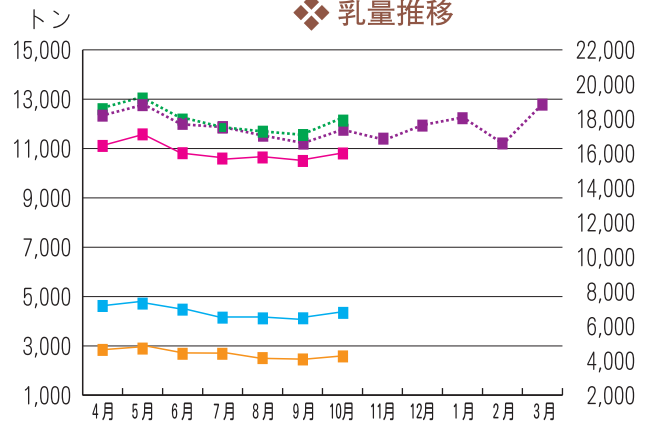
関東生乳販連用途別販売数量 (単位：kg・%)

用途	10月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	72,876,481	73,124,559	99.7	497,820,039	492,385,705	101.1
(うち学校向け)	13,276,138	13,942,532	95.2	70,801,415	72,513,933	97.6
はっ酵乳向け	12,946,452	13,998,779	92.5	96,799,392	102,717,241	94.2
特定乳製品向け(加工)	3,973,996	3,981,992	99.8	57,250,420	61,835,182	92.6
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,721,200	2,390,039	72.0	12,804,867	16,845,253	76.0
チーズ向け	66,182	67,164	98.5	438,231	519,114	84.4
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	91,584,311	93,562,533	97.9	665,112,949	674,302,495	98.6
加工比率	4.34	4.26	-	8.61	9.17	-

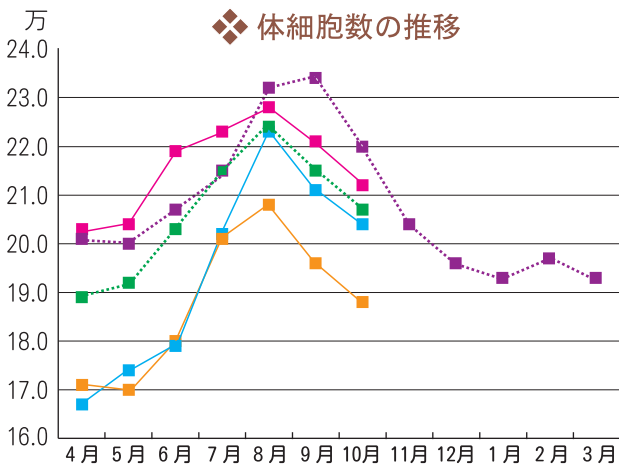
◆ 脂肪率の推移



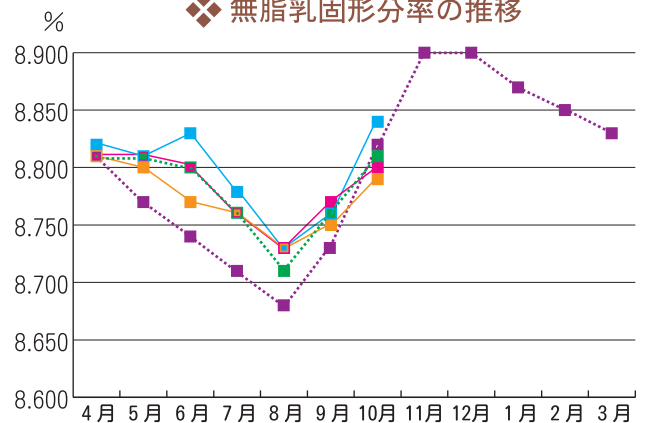
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



業務部

『青年部家族交流会』開催

8月9日（金）、栃木県警本部及びホテル東日本宇都宮にて、青年部家族交流会が開催されました。昨年より開始した交流会は、夏休み期間中に部員の奥さん・子供たちも一緒に参加し、懇親を深めることを目的としています。昨年よりも参加者は増え、14家族53名の参加がありました。



県警本部では、ビデオ鑑賞と白バイに跨っての撮影会が行われ、子供たちだけでなく、部員たちも目を輝かせていました。その後の



懇親会では、ピザやパスタなどのイタリアンを堪能し、奥さん・子供たちもお腹いっぱいになり、笑顔で帰路につきました。

なお、来年度は8月上旬に、カルビーの工場見学を予定していますので、青年部員ご家族揃っての参加をお待ちしております。

『DDFカップリング

パーティー』開催

10月20日（日）、那須どうぶつ王国にて、DDFカップリングパーティーが開催されました。当日は一日中雨で気温も低く、あいにくの天候でしたが、男女計15名の参

加がありました。

どうぶつ王国へ向かうバス内での1対1トークから始まりました。到着後、王国内をグループ散策、バーベキューガーデンでの食事とフリートーク、その後のフリータイム時には、男性陣はそれぞれ気になる女性を誘い出し、ドッグショーを見たり、カフェでお茶したりと積極的に動いていました。

帰りのバス内で最終アピール・投票を行い、その結果、見事3組のカップルが誕生しました。他の参加者も連絡先を交換していたので、今後の進展に期待したいと思います。



農業労災事故が多発!

本年度、当事務組合にて受理した事故件数は8件と例年にないペースで発生しており、昨年の事故件数の9件に迫る勢いです。

年末年始を間近かに控え、何かと気忙しくまた寒くなる時期に入ることから、体調管理を含め万全の態勢で酪農全般の作業にあたり、農業労災事故を未然に防ぎましょう。

本年度の主な事故内訳

- ・牛との接触による事故 3件
- ・乾草積み下ろし時の事故 2件
- ・機械作業による事故 3件

事故防止に向けて

- ・搾乳前後や運動場への移動の際、牛の接触に気をつけましょう。
 - ・乾草はかなりの重量があります。取り扱い時には十分気をつけ、高所での作業になる際は、落下防止策も講じましょう。
 - ・機械のつまりや点検の際は必ずエンジンを切り、停止したことを確認し作業にあたりましょう。
- 酪農とちぎ労働保険事務組合



役員研修会を開催

去る9月30日(月)理事会に引き続き午後1時より会場を栃木県県央家畜保健衛生所会議室に移し、役員研修会が開催されました。

常勤、非常勤役員の他に青年部、女性会役員と管理職を含め約50名参加の下、(一社)中央酪農会議事務局長の内橋政敏氏が「日本酪農を取り巻く情勢について」と題し8月にマスコミ向けにプレスリリースした資料に基づき日本酪農の現状について講演されました。穀物価格の高止まりと円安進行による飼料価格高騰で、酪農経営の深刻さを力説し、生乳価格値上げに至る経緯と今後の取組み等を説明されました。



内橋 政敏 氏

理事会だより

8月度理事会(8月30日)

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 平成25年産牧草給与前検査状況について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 7月度事業実績について
- (二) 放射性物質対応に伴う代替粗飼料購入の負担軽減支援策について
- (三) 固定資産の取得について
- (四) 就業規則等の一部改正について
- (五) 組合と理事との契約について

9月度理事会(9月30日)

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 業務経過報告について

- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 8月度事業実績について
- (二) 固定資産の取得について
- (三) 乳牛導入事業互助会規程の一部改正について
- (四) 組合と理事との契約について

10月度理事会(10月30日)

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (五) 台風26号の被害状況について
- (六) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 9月度及び上半期事業実績について
- (二) 役員賠償責任保険への加入について
- (三) 固定資産の取得について

10月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位:千円(税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
南北海道	10月4日	136	90	66.2%	436	4	4	558
十勝	10月8日	615	424	68.9%	500	70	58	617
釧路	10月9日	312	217	69.6%	500	4	3	621
根室	10月10日	364	294	80.8%	515	27	18	612
豊富	10月17日	395	252	63.8%	475	3	3	650
十勝	10月23日	582	496	85.2%	523	61	52	620
根室	10月24日	277	234	84.5%	522	17	9	622
北見	10月25日	491	343	69.9%	494	0	0	0
合計		3,172	2,350	74.1%	502	186	147	617
前月		2,942	1,827	62.1%	499	177	123	615
前年同月		3,394	2,307	68.0%	490	140	99	609

初妊牛の11月の動向は、1-2月分娩腹が中心となります。今後の値上りを懸念して早い動きになっておりますので、3月腹も動く予想されます。年明けからの相場は例年高騰しているため、導入を希望される方は、年内の手当てが得策かと思われます。

10月度 県内家畜市場成績 (単位:円(税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須(10/25)	ホルス雄	109	103	59	60,900	320	31,409	233
	F1雄	88	88	58	212,100	52,500	159,815	▲5,841
	F1雌	76	75	52	165,900	49,350	111,972	▲1,583
館林(10/27)	ホルス雄	2	2	92	54,600	47,250	50,925	-
	F1雄	21	21	93	241,500	114,450	188,850	5,959
	F1雌	13	13	85	182,700	81,900	140,862	▲15,798

ホルス雄については弱含みの状態となっております。またF1については弱気配ではありますが、資源不足で素牛価格が高値で推移していること、また県外からの購買者も多いため、例年よりは高値の状態が続いております。なお、西那須野家畜市場は10月1日より「那須家畜市場」に名称が変更となっております。

